

平成20事業年度

決算報告書

自：平成20年 4月 1日

至：平成21年 3月31日

国立大学法人東北大学

平成20年度 決算報告書

国立大学法人東北大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	50,717	50,717	-	
施設整備費補助金	4,285	4,688	403	(注1)
補助金等収入	2,225	4,625	2,400	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	141	141	-	
自己収入	36,702	43,456	6,753	
授業料、入学料及び検定料収入	10,301	10,278	△ 23	(注3)
附属病院収入	24,163	27,752	3,589	(注4)
財産処分収入	-	318	318	
雑収入	2,239	5,108	2,869	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	15,164	22,684	7,520	(注6)
引当金取崩	-	146	146	
長期借入金	4,090	4,041	△ 48	
承継剰余金	-	60	60	(注7)
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	432	2,672	2,239	
計	113,756	133,230	19,475	
支出				
業務費	65,906	76,006	10,099	
教育研究経費	49,369	49,617	248	
診療経費	16,537	26,389	9,851	(注8)
一般管理費	16,927	15,110	△ 1,816	(注9)
施設整備費	8,515	9,110	594	(注10)
補助金等	2,225	4,669	2,445	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	15,164	14,821	△ 342	(注12)
長期借入金償還金	5,019	5,071	52	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	113,756	124,788	11,032	
収入-支出	0	8,443	8,443	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、(川内・青葉山)耐震対策事業及び電子ビーム蛍光X線解析システム、加齢研実験研究棟改修事業、災害復旧事業により、予算額に比して決算額が627百万円多額となっています。また、基幹・環境整備事業、(星陵外)耐震対策事業、保健学科棟改修事業の繰越により、224百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、研究拠点形成費等補助金(グローバルCOE)、国際研究拠点形成促進事業費等の預り補助金の受入により、予算額に比して決算額が2,400百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者の増により、入学料収入が20百万円多額となっています。また、在学者数、受験者数の減により、授業料、検定料収入が43百万円少額となっています。

(注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上及び手術件数の増等により予算額に比して決算額が3,589百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、科研費等補助金、預り補助金間接経費の受入により、予算額に比して決算額が1,565百万円多額となっています。また、特許権実施料等収入により予算額に比して決算額が671百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が産学連携等研究収入において1,830百万円、寄附金収入においては2,012百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越分として3,613百万円を支出額に計上しています。

(注7) 承継剰余金については、賠償金等の支払により、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。

(注8) 診療経費については、病院収益の増加により、予算額に比して決算額が4,946百万円多額となっています。また予算額について計上区分の誤りのため4,906百万円多額となっています。

(注9) 一般管理費については、補助金等間接経費の支出により、予算額に比して決算額が3,089百万円多額となっています。また予算額について計上区分の誤りのため4,906百万円少額となっています。

(注10) 施設整備費については、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が594百万円多額となっています。

(注11) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,445百万円多額となっています。

(注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金等の繰り越し等により、予算額に比して決算額が342百万円少額となっています。